

2019年度 事業計画

平成31年3月7日

一般財団法人長岡花火財団

一般財団法人長岡花火財団 2019年度 事業計画

1 基本方針

当財団は、長岡花火の価値を「守り・伝え・高める」活動を展開し、市民の誇り・長岡花火を次世代につなぎ、市の魅力を高めるけん引役を担う組織として活動します。大規模化した花火大会のリスク管理体制の強化をはじめ、年間を通じた長岡花火のプロモーションを積極的に推進していきます。

また、しっかりとした組織基盤を確立するため、活動内容の積極的な広報や、「長岡花火」を応援する企業等との「オフィシャルパートナー協定」の活用による、新たな財源確保、さらに不測の事態に備えた「災害等対策基金」への積立を行います。

2 2019年度の重点的な取り組み

(1) 長岡まつり大花火大会の企画・運営

2019年は、中越大震災の翌年から始まった復興祈願花火「フェニックス」の15回目の節目の年であり、花火大会で改めて各方面への感謝を表すとともに、翌年はオリンピック期間中に花火大会が開催されることから、2019年は2020年で想定される課題に対応する花火大会と位置づけ、安全対策を最優先に、官民一体となった事業運営を行います。また、東京オリンピック・パラリンピック開催はもとより、その先を見据えた、さらなる外国人観光客の積極的な誘致および受け入れ体制の強化を図るとともに、長岡煙火協会と連携しながら、花火プログラムの充実を図ります。

(2) 長岡の誇りを伝える活動

市民をはじめ、未来を担う子どもたちへ「長岡花火」に込められた様々な想いを伝える機会や拠点を創出し、長岡花火への理解を深めてもらうことで、長岡に「誇り」や「愛着」を持てるよう活動を展開します。また、長岡花火に関わるボランティアの育成にも積極的に取り組みます。

(3) 長岡花火ブランドの全国・世界発信

年間を通じて長岡花火ブランドの価値を高め、広めていくためのプロモーション活動として、国内外へ積極的に発信します。また、長岡まつり大花火大会が開催される2日間だけでなく、一年を通じて「花火のまち・長岡」を感じ、訪れてもらえるよう様々な施策に取り組みます。

(4) 組織力の強化

長岡花火を応援する企業等との連携を積極的に展開し、新たな財源確保や財政負担の軽減を図るとともに、不測の事態に備える「災害等対策基金」への積立、組織の継続性や優れた人材を養成するための活動を行い、安定的な組織運営を目指します。

3 事業計画

※ 以下に記載の事業別の数値につきましては参考値であり、今後の状況により変動しますので、取扱いにつきましては留意願います。

◆長岡まつり大花火大会の企画・運営

(1) 花火プログラムの充実【180,330千円】

- ・長岡ゆかりの曲で打ち上がるミュージックスターマインのさらなる深化。
- ・15回目を迎える「復興祈願花火フェニックス」の新たな形。

(2) 安全対策の充実【75,440千円】

警備体制や警備員の配置の見直しによる、効率的なまつり警備の構築。

(3) 有料観覧席・観覧環境の見直し【45,550千円】

- ・より購入しやすい、販売方法・スケジュールの見直し。
- ・分かりやすい観覧席名への変更
- ・ニーズに合わせた席種の見直し

(4) 外国人観光客の受け入れ体制整備充実【344千円】

- ・通訳ボランティアの配置の見直し。
- ・指さし会話シートを活用した案内誘導の強化。

(5) 迷惑駐車対策【 - 】

- ・来場者の利便性向上と会場周辺の迷惑駐車対策として、空き地を利用した民間駐車場サービスとの連携。

(長岡花火財団は事業PRに協力)

◆長岡の誇りを伝える活動

(1) 学校等への訪問活動、米百俵未来塾での啓発・普及活動の充実【4,500千円、米百俵未来塾は米百俵財団予算】

- ・長岡花火に込められた様々な想いを、未来を担う子どもたちへ伝えるため、小中学校等へ訪問活動を実施する。また、同様の活動を行っている団体と連携・協力しながら訪問活動を実施していく。
- ・2019年から(公財)長岡市米百俵財団で開講する米百俵未来塾において、長岡花火の講座を実施し、長岡花火をより深く学んでもらい、長岡に誇りと自信を持った人材を育成する。

(2) 長岡花火に関するボランティア活動を通じた人材育成【2,580千円】

長岡花火の普及・啓発活動や会場設営等を通じ、長岡花火に関わるボランティアの育成を推進する。

(3) 長岡花火ブランドの発信拠点の整備【4,500千円(再掲)】

長岡花火情報室での花火コンテンツを充実し、長岡花火ブランドの機能強化を図る。

また、現在整備中の（仮）長岡花火館については、新たな長岡花火の発信拠点として位置付け、今後どのように関わっていくか検討を進める。

◆長岡花火ブランドの全国・世界発信

（１）米百俵フェスティバルでの長岡花火打上事業【5,000千円】

音楽フェスのフィナーレに、県内外の観覧客に対し長岡花火をアピールし、新たな秋の風物詩として定着を図るもの。

開催時期：2019年10月12日、13日

会場：東山ファミリーランド

（２）長岡花火ウインターファンタジー事業【8,652千円】

2019年のdestinationキャンペーンを見据え、冬の新たな長岡の観光資源の一つとして定着を目指すとともに、全国からの誘客を図る。

開催時期：2019年12月初旬

会場：国営越後丘陵公園 健康ゾーン 緑の千畳敷内

（３）長岡雪しか祭りでの長岡花火打上事業【3,000千円】

長岡雪しか祭りにおいて、雪しか祭り実行委員会と連携、協力し、長岡花火の打ち上げを行う。

開催時期：2020年2月中旬

会場：千秋が原ふるさとの森内

（４）ホノルルフェスティバルにおける長岡花火打上事業【10,980千円】

姉妹都市であるハワイ州ホノルル市での長岡花火打ち上げを行う。また、長岡花火公式グッズの現地販売などを通じて、本市への誘客を図る。

開催時期：2020年3月中旬 ※ホノルルフェスティバル最終日

会場：ハワイ州ホノルル市

（５）観光インバウンド（訪日外国人誘客）推進事業【850千円】

長岡市、長岡観光コンベンション協会や新潟県と連携し、「長岡花火」を核とした、インバウンド向けの観光ルートの設定および商品化へ向けた取り組みを進める。

ターゲット：台湾、ベトナム、シンガポールなどアジア地域（訪日外国人2,800万人のうち約86%がアジア地域から来訪）

取組内容：現地での観光商談会や旅行博などへの参加。

現地旅行AGTとの連携を強化し、旅行商品造成。

（６）地域の花火大会への支援事業について【2,800千円】

各地域で打ち上げられる花火において、「長岡花火」に込められた想いを伝承する活動に対して支援するもの、また、市の観光戦略に基づき、「長岡花火」を各地域のイベントの魅力を高めるツールとして活用を検討していく。

(7) 知的財産権の利活用および制度化に向けた検討【1,650千円】

長岡花火ブランドを守り、高めていくため、「長岡花火」の商標権取得を戦略的に進め、長岡花火の知名度向上や公式グッズの制作につなげていく。

(8) 新たな観覧客の開拓（新規）【2,850千円】

公式アプリのアンケート集計の結果などから、若年来場者（20・30代）の割合が減少していることや、さらに進む人口減少から、将来的に現在の来場者を確保することが難しい状況となっている。そこで、継続的な長岡花火の来場者の確保のために、若年層にターゲットを絞ったプロモーション事業を今段階から積極的に展開していく。

◆組織力の強化

(1) 事故リスクへの対応【19,325千円】

- ・花火大会の規模に応じた損害賠償保険額の加入
(賠償責任保険限度額：1事故10億円)
- ・花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険限度額の引き上げ
(賠償責任保険限度額：延期3億7千万円から中止・延期を含め10億円)
- ・役員の実務上の賠償責任に対応する「役員賠償責任保険団体制度」への加入
(補償限度額 1億円)

(2) 災害リスクへの対応【 - 】

不測の事態に備え、「災害等対策基金」への積立。

(3) 自主財源の確保、財政負担の軽減制度の活用

長岡花火を応援する企業との「オフィシャルパートナー協定」を積極的に推進し、自主財源の確保やサービスの享受による財政負担の軽減により、経営基盤の強化を図る。

(4) 人材の育成

財団事業の確実な実施と継続性を図るため、プロパー職員を積極的に採用する。
(プロパー職員規程の早期策定)

(5) 財団の中期経営計画に沿った組織財務の運用

従来のブランド戦略プランの検証を反映した、財団の中期的な組織運営の指針である「(一財)長岡花火財団中期経営計画」に基づき、財務運営（ガバナンス強化）を行う。

収支予算書(収支)

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[1,000]	[10,000]	[△ 9,000]
基本財産受取利息	1,000	10,000	△ 9,000
特定資産運用収入	[3,000]	[4,000]	[△ 1,000]
特定資産受取利息	3,000	4,000	△ 1,000
事業収入	[482,380,000]	[549,800,000]	[△ 67,420,000]
観覧席販売収入	461,870,000	505,500,000	△ 43,630,000
駐車場協力金収入	12,585,000	13,000,000	△ 415,000
各種販売収入	7,010,000	10,100,000	△ 3,090,000
各種賦課金収入	915,000	1,200,000	△ 285,000
業務委託料収入	0	20,000,000	△ 20,000,000
補助金等収入	[57,470,000]	[57,367,000]	[103,000]
長岡市派遣職員人件費補助金収入	57,470,000	57,367,000	103,000
寄付金収入	[1,060,000]	[2,210,000]	[△ 1,150,000]
寄付金収入	1,060,000	2,210,000	△ 1,150,000
協賛金収入	[225,004,000]	[238,200,000]	[△ 13,196,000]
現金協賛金収入	48,118,000	49,000,000	△ 882,000
広告協賛金収入	800,000	900,000	△ 100,000
花火協賛金収入	159,083,000	169,000,000	△ 9,917,000
フェニックス花火協賛金収入	11,000,000	11,500,000	△ 500,000
その他協賛金収入	6,003,000	7,800,000	△ 1,797,000
雑収入	[263,000]	[2,405,000]	[△ 2,142,000]
受取利息収入	3,000	5,000	△ 2,000
雑収入	260,000	2,400,000	△ 2,140,000
事業活動収入計	766,181,000	849,996,000	△ 83,815,000
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	[581,879,600]	[599,378,000]	[△ 17,498,400]
花火打上事業費支出	180,330,000	194,216,000	△ 13,886,000
会場設営事業費支出	214,120,000	231,860,000	△ 17,740,000
安全対策事業費支出	75,640,000	75,639,000	1,000
交通対策事業費支出	33,700,000	30,753,000	2,947,000
観覧席販売事業費支出	45,529,600	46,460,000	△ 930,400
寄付懇請事業費支出	10,440,000	10,284,000	156,000
受入体制強化事業費支出	22,120,000	10,166,000	11,954,000
普及啓発事業費支出	[5,738,000]	[3,070,000]	[2,668,000]
普及啓発イベント事業費支出	2,850,000	0	2,850,000
伝承活動事業費支出	2,888,000	3,070,000	△ 182,000
ブランド発信事業費支出	[69,260,000]	[91,380,000]	[△ 22,120,000]
情報発信事業費支出	29,080,000	30,750,000	△ 1,670,000
海外発信事業費支出	11,630,000	9,280,000	2,350,000
情報発信拠点事業費支出	4,500,000	4,300,000	200,000
長岡花火打上プロモーション事業費支出	24,050,000	47,050,000	△ 23,000,000
その他プロモーション事業費支出	[6,260,000]	[8,100,000]	[△ 1,840,000]
その他プロモーション事業費支出	6,260,000	8,100,000	△ 1,840,000
管理費支出	[102,940,000]	[120,800,000]	[△ 17,860,000]
人件費支出	69,610,000	66,740,000	2,870,000
施設費支出	10,650,000	13,425,000	△ 2,775,000
その他管理費支出	22,680,000	40,635,000	△ 17,955,000
事業活動支出計	766,077,600	822,728,000	△ 56,650,400
事業活動収支差額	103,400	27,268,000	△ 27,164,600

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特 定 資 産 取 得 支 出	[0]	[25,000,000]	[△ 25,000,000]
災害等対策基金特定資産取得支出	0	25,000,000	△ 25,000,000
投資活動支出計	0	25,000,000	△ 25,000,000
投資活動収支差額	0	△ 25,000,000	25,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	103,400	2,268,000	△ 2,164,600
前期繰越収支差額	4,268,000	2,000,000	2,268,000
次期繰越収支差額	4,371,400	4,268,000	103,400